



2026年4月22日

各 位

会社名 生化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 水谷 建  
(コード番号 4548 東証プライム)  
問合せ先 上席執行役員 管理部門担当 竹田 和史  
(TEL : 03-5220-8950)

## 癒着防止材 SI-449 の日本における製造販売承認の取得と 販売提携先の決定に関するお知らせ

当社は、癒着防止材 SI-449（製品名「シーエスバリア」、以下、本材）について、2026年4月20日付で製造販売承認を取得しましたのでお知らせします。

また、本材の日本における販売提携先についてはコヴィディエンジャパン株式会社（本社：東京都港区、以下、コヴィディエン社）に決定いたしましたので、併せてお知らせします。

本材の販売提携先であるコヴィディエン社は、グローバル医療機器メーカーであるメドトロニックの日本法人において、外科領域と低侵襲治療・診断領域のソリューション提供を担い、本材の主な適用領域である消化器外科及び婦人科等において高いプレゼンスと幅広いポートフォリオを有しており、これらのポートフォリオと本材との相乗効果が期待されます。

当社は製造販売元として、学術情報の提供等を通じて販売提携先の活動を支援します。本材の普及により、術後癒着に伴う合併症の発生リスクを低減させ、患者の方々の健康で心豊かな生活の質の向上に貢献することを目指してまいります。

本材の国内における発売時期については、コヴィディエン社と協議の上、保険償還価格の取得後にお知らせいたします。

また、本件の影響は2026年5月13日発表予定の2026年3月期決算短信に記載する、2027年3月期連結業績予想に織り込む予定です。

以上

《ご参考：SI-449 について》

当社独自のグリコサミノグリカン※架橋技術を用いて創製した、コンドロイチン硫酸架橋体を主成分とする粉末状の癒着防止材です。水分を吸収し膨潤する特性を有しており、撒布後に手術創部と周辺組織の間でバリアとなることで、術後癒着の防止効果を示すことが国内で実施した消化器外科領域におけるピボタル試験で確認されています。

また、本材は架橋剤を含め体内に存在する物質で構成されており、国内で実施した臨床試験にて安全性が確認されています。さらに、粉末状製材であることから、凹凸の多い組織表面への付着性が高く、普及が進んでいる腹腔鏡下手術での操作性にも優れていることが、国内で実施した婦人科領域におけるパイロット試験で確認されています。

※ グリコサミノグリカン（Glycosaminoglycan : GAG）：複合糖質の主要成分の1つ。コンドロイチン硫酸やヒアルロン酸等。

本件に関するお問い合わせは次にお願いたします。

生化学工業株式会社 総務部 コーポレートコミュニケーション担当

E-mail : ir@seikagaku.co.jp

TEL : 03-5220-8950